



10月3日は長倉三郎 生誕100周年

図書館だより

- NEW LIFE WORK -

沼津市三枚橋町9番1号

TEL: 055-952-1234

http://www.tosyokan.city.numazu.shizuoka.jp/



No.109

2020年10月号

(令和2年10月1日発行)

読書週間関連イベント企画展



生誕180周年 日本近代化の父 渋沢栄一との邂逅

と き 10月8日(木)~11月29日(日) ところ 市立図書館展示ホール

企画展登場人物紹介

私は農家の出身だが
徳川慶喜に仕えた。
日本初の会社、静岡商法会所をつくり、
明治新政府のためにも働いた。
約500の会社設立に関わり、
社会福祉事業にも尽力した。
そのため、日本実業界の父と
呼ばれているよ。



渋沢栄一
(1840~1931)

渋沢敬三
(1896~1963)

私は渋沢栄一の孫です。
子どもの頃の夢は生物学者。
祖父の思いを受けて実業界に入った。
でも、時間を見つけては
好きな学問を続けていたんだ。
沼津では内浦で漁業関係文書の
調査・収集をしたよ。

『図解 渋沢栄一と「論語と算盤」』

齋藤 孝 // 著 フォレスト出版(2020.7)

1 階一般 335.13

今、なぜ渋沢栄一なのか？ 栄一の生涯、
著作『論語と算盤』、人物模様がイラストを
多用して、わかりやすく解説されています。

『図説 大正昭和暮らしの博物誌』

民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム

近藤 雅樹 // 編 河出書房新社(2001.3) 1 階一般 383.9

仲間との博物館ごっこから始まったコレクションは
やがて大正・昭和の生活を知るうえでの貴重な研究へ。
アチック・ミュージアムと敬三の人柄、学問への
眼差しが語られます。

『お札に描かれる偉人たち』

楠木誠一郎 // 著 講談社(2019.10)

1 階児童 281

2024年、お札の顔が変わります。新一万円札のモデル
は渋沢栄一です。今でも私たちの暮らしを支える業績
と生涯が紹介されます。

栄一&敬三
の
おすすめ図書



『屋根裏の博物館 実業家渋沢敬三が育てた民の学問』

神奈川大学日本常民文化研究所 // 編
横浜市歴史博物館(2002.10) 2 階郷土 K289

敬三は、三津での療養中に旧家の古文書を発見し、
『豆州内浦漁民史料』としてまとめました。貴重な
資料がどのように発掘されたのか明かされます。

渋沢

敬三は内浦長浜の大川四郎左衛門の家で古文書を発見し、さらに内浦を中心とする各
旧家にて多数の古文書を収集しました。それらは一地域の戦国時代から明治時代の長
きにわたるものであり、また内浦に特徴的であった建切網漁業(大網漁業)を主とする漁業関係文
書が多いものでした。敬三はこの多数の古文書を取捨選択することなく一括して収集、整理・編纂
し、『豆州内浦漁民史料』を刊行しました。この編纂方法は画期的なものであり、その功績を認め
られ、昭和15年(1940)日本農学会より日本農学賞を受賞しました。

敬三

自らは、道具や民具などのモノに注目し、モノの動きから人間の生活を追い求める
とともに、南方熊楠や宮本常一をはじめ、多くの研究者や文化活動に対して
支援し続けました。

「論文を書くのではない、資料を学界に提供するのである。山から鉱石を掘り出し、これを選鉱して品位
を高めて焼いて銭(カラム)を取り去って粗銅とするのが本書の目的である。(略)原文書を整理して、
他日、学者の用に供し得る形にすることが自分の目的なのである。」『豆州内浦漁民史料』「本書成立の由来」より

沼津内浦と

渋沢敬三





図書館の本をWebで予約してみましょう！



- 1 沼津市立図書館HPの「蔵書検索」から、借りたい資料を検索し「予約かごに追加」をクリック

蔵書検索は
こちら



- 2 ログイン画面で「利用者カード番号」と「パスワード」を入力

※利用者カード番号は、ハイフンなしの8桁の数字です。※図1

※パスワードの初回登録は、本館・戸田図書館・自動車文庫でできます。

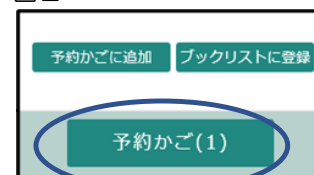
図1



- 3 「予約かごを見る」をクリック ※図2

予約かごに追加しただけでは予約は完了していません！

図2

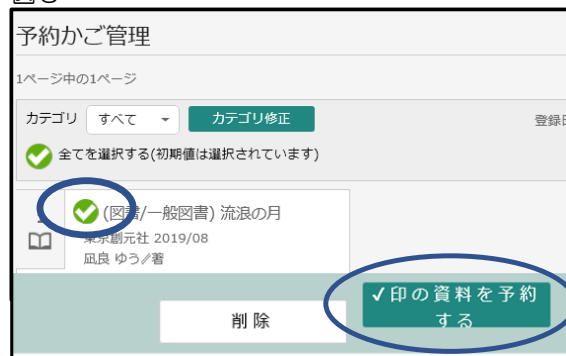


- 4 予約したい資料にレ点をつけ、画面下部の「レ印の資料を予約する」をクリック ※図3

※図書は5冊、視聴覚資料は3点まで予約できます。

画面下部のボタンを押してください！

図3



- 5 受取館を選んで「予約内容を確認」をクリック

※本館・戸田図書館・地区センター・自動車文庫から選べます。

※自動車文庫での受取は、ステーションを指定してください。

※視聴覚資料の受取は、本館・戸田図書館のみです。

- 6 最後にすべての予約内容に間違いがなければ、「予約の確定」をクリック ※図4

図4



図書館からメールが届いたら、
予約が完了します！

地名の由来（その17）-旧大岡村地区<4>-

高田（たかだ）

狩野川下流右岸に位置し、延宝2年（1674）、三枚橋町から分村して一村になる。高田という地名は、この地が高い所の田ということから付けられたといわれている。

日吉（ひよし）

狩野川下流右岸に位置し、村名は日枝神社に由来する。また、日吉地内の小字長者町に日吉廃寺跡がある。

★日吉廃寺跡…日吉廃寺は白鳳時代（7世紀後半）に建立され、平安時代初期（9世紀）に廃絶した古代寺院である。寺院跡は所在地名を付して日吉廃寺と称されている。

日吉廃寺跡の調査報告では、土層の堆積状態から重要遺構は既に破壊され残っていない可能性がある」と説明した。一方で、同遺跡からは仏像の螺髪（らほつ）や多量の瓦が出土しているため、仏像と寺院の存在は確実だとした。静岡新聞（2017.11.6朝刊P20）